

6月臨時号 尼崎市立大成中学校 平成24年6月14日

# 大成中だより

## 素晴らしい体育大会に感激です！

梅雨空のうっとうしい季節となりました。7日(木)に行われた本校体育大会にはたくさんの方々にご来校をいただき、心温まる励ましとご声援をいただきまして改めて心より厚くお礼申し上げます。お陰様で、一生忘れられない思い出深い体育大会になりました。本当に有り難うございました。

多くのご来賓の方々が異口同音に「一生懸命に取り組んでいる様子が伝わってきました」、「ひたむきな姿が微笑ましいです」、「子ども達のやる気が感じられました」、「いい学校ですね」等々、たくさんの嬉しい感想を頂きました。それもこれも生徒の力を最大限に引き出してくれた先生達の指導と、最高の競技と演技を披露しようと協力し合った生徒の気持ち、感動の体育大会という結果となって現れたのだと思います。

何度も言いますが、まずは開会式の行進です。本当に堂々たる見事な行進でした。その立ち姿、歩き姿に見ている者の目が釘付けになっていました。それほど素晴らしかったと強く感じました。いろいろな走競技も協力し合いながら楽しそうに走っていた表情に、生徒一人ひとりの充実感と達成感を感じました。また学年競技においても、得てして練習とは違う結果となりがちですが、それは本番でさらに力を合わせて競技に臨むために、勢いがつきすぎて予期せぬことが起こるからです。練習と違う結果となるのは悔しいですが、全力を尽くした結果だと褒められるべきことだと思います。



そして2、3年生女子のダンスと男子の組体操。生徒一人ひとりの気持ちの高さと支え合う集団の力があってこそ、心にズシンと響いた感動的な演技になったと思います。3年生女子は春休みからリーダー中心にダンスの振り付けに取り組んでいたようです。みんなの知らないところでモチベーション高く取り組んでいたことが、学年全体のみならず、2年生へもその気持ちを広げていったのだと感じました。そのことがたくさんの種類のダンスを覚えられた素地になったのだと思います。

また男子の組体操においても、毎日必死になって心をつ一つにして練習に取り組んだからこそ、「感動」という文字が見ている人の心に深く刻まれたのだと思います。土台の者の膝に食い込む砂粒の痛さや上に乗る者の怖さは、それを経験した者でないとなかなか分かりません。分からないからこそ励まし合い支え合うことで必死に踏ん張ることができます。そうした先輩達の姿を通して後輩達に、来年度の体育大会へ向けての決意も生まれたことと思います。ダンスも組体操も演技終了後に指導教員の胴上げがあり、一層の感動を呼び起こしました。



加えていろいろな係の生徒達も本当によくそれぞれの仕事に頑張っていました。グラウンド整地してくれた部活動の皆さん。縄張りや杭打ちの準備、テント設営にパイプ椅子設置、また当日の放送担当や救護担当の仕事、体育道具の出し仕入れや入退場門の誘導、観察、記録、招集の仕事、借り物競走で盛り上げてくれた生徒会の皆さん等々、それぞれの係の人が自分の役割分担をしっかりと果たし、みんなで体育大会を作り上げたことが大成功につながったと感じました。感動、感激の本当に素晴らしい体育大会でした。

大成中学校の生徒達と教職員集団、そしてPTA役員、各委員の皆さんが心をつ一つにして、素晴らしい体育大会を作り上げたことに心から感謝したいと思います。また、保護者・地域の皆様方には最後まで生徒達の頑張っている姿を温かく見守り、ご声援をいただきましたことを改めて厚くお礼申し上げます。有り難うございました。そして近隣地域の皆様には練習から本番までお騒がせをし、ご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び致しますとともに、ご理解、ご容赦に心から感謝いたします。本当に有り難うございました。

(清 昌司)